

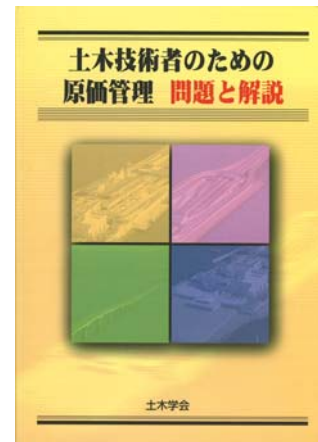
土木技術者のための原価管理 問題と解説

原価管理研究小委員会

【経緯】

当小委員会は2001年に「土木技術者の原価管理」を出版しました。この本は建設業における原価管理手法を詳細に解説したもので、いまだ個人のノウハウの域を出ない土木工事の原価管理を学習できるテキストとして評価されています。

若い土木技術者が原価管理について学習しようとするとき、一冊のテキストのみに頼るということにはおのずと限界があります。当小委員会は前著出版当初からその点を認識しており、副教材となる問題集の製作を企画しておりました。そしてようやく「土木技術者のための原価管理 問題と解説」を発刊するにいたりました。



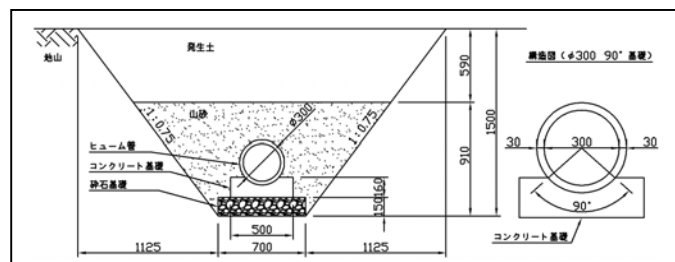
【位置付け】

本書は前著「土木技術者のための原価管理」の姉妹刊となる問題集です。しかも単なる問題と解答にとどまらず、詳細な解説を加えて学習者の理解を助けています。

【内容】

本書は「土木技術者のための原価管理」に準拠して作成されており、同書の目次に従って問題が並べられています。また全体をⅠ理論編、Ⅱ実践編（ケーススタディ）、Ⅲ資格試験における原価管理に関する試験問題の三つの部分に分けて出題し、解答と解説を加えました。

特に「Ⅱ実践編」では実際に即した工事案件を経験できるように、例題となる工事の図面と条件を与え、数量拾いから始まる原価管理の一連の流れを追えるようにしました。



また「Ⅲ資格試験における原価管理に関する試験問題」では、土木学会認定技術者試験や技術士試験、土木施工管理技士試験に実際に出された原価管理に係わる問題を集めました。そしてこれらにも詳細な解説をつけることにより、各資格試験の受験を考えている方たちの利便に供しております。

多くの建設会社のノウハウのみならず、学・官も交えた議論を経て生まれた問題集です。土木工事における原価管理の学習に必携の一冊です。

以上